

第12回全日本大学フットサル大会 関東大会

大会要項

1. 大会名称 第12回全日本大学フットサル大会 関東大会
2. 主催 (一社) 関東サッカー協会
3. 主管 (一社) 関東サッカー協会フットサル委員会
(公財) 埼玉県サッカー協会フットサル委員会
4. 協力 埼玉県フットサル連盟
5. 期日 2016年7月10日(日)
6. 会場 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム体育館
7. 参加チーム数

参加チーム数は、8チームとする。(1都7県各1チーム)

但し、出場しない都県があった場合は、昨年度の登録チーム数の多い都県から選出する。

8. 参加資格

(1) フットサルチームの場合

- ① 公益財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」とする。)に「フットサル1種」の種別で加盟登録したチーム(準加盟チームを含む。)に所属している選手により、本大会のために構成されたチーム。
- ② 第1項のチームに所属する単一の大学(大学院生を含む)・短大に在学している選手であること。男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。※ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
- ④ 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。
- ⑤ 選手および役員は、本全国大会において複数のチームで参加できない。

(2) サッカーチームの場合

- ① 日本協会に「サッカー1種」の種別で加盟登録したチーム(準加盟チームを含む。)に所属している選手により、本大会のために構成されたチーム。
- ② 第1項のチームに所属する単一の大学(大学院生を含む)・短大に在学している選手であること。男女の性別は問わない。
- ③ 外国籍選手は1チームあたり3名までとする。※ピッチ上でプレーできる外国籍選手の数:2名以内
- ④ 都道府県大会、地域大会を通して、選手は、他のチームで参加していないこと。
- ⑤ 選手および役員は、本全国大会において複数のチームで参加できない。

9. 競技規則

- (1) 大会実施年度の日本協会フットサル競技規則による。
- (2) 試合時間については競技形式2項による。

10. 競技形式

- (1) 8チームによるノックアウト方式により、優勝・第2位チームを決定する。
- (2) 試合時間は、30分(15分ハーフ)プレーイングタイム(ハーフタイムのインターバル5分)とする。同点の場合、ペナルティーキック(PK)方式により次回戦進出チーム(決勝戦においては優勝)を決定する。

- (3) 一方のチームの責に帰すべき事由により試合開催不能または中止となった場合（不戦敗等）には、その帰責事由あるチームは0対5で敗戦したものとみなす。
- (4) ベンチに着席できる人数は、フットサル大会登録票により本大会に予め登録されており、試合開始前に提出のメンバー提出用紙に記載している交代選手9名、役員3名の合計12名を上限とし、メンバーリストに記載され試合登録の完了したチーム役員及び選手のみがベンチ入りすることが認められる。
- (5) チーム役員については、事前に大会登録されている最大4名の中から3名を越えないチーム役員が試合登録され、ベンチに入ることが認められる。
- (6) 試合登録においてチーム役員及び選手を兼任する場合は、ベンチ入りの人数においてチーム役員・選手双方に含まれるものとする。チーム役員が3名を超えない場合に限り、試合に出場しない大会登録選手の中からチーム役員として試合登録ができ、ベンチに入ることが認められる。この際の服装はユニフォームではなく、選手と区別できる服装を着用しなければならない。
- (7) 試合開始時に最小3人の競技者がいる状況において、試合開始以前に提出されるメンバー表に記載され、かつ大会登録選手であり、出場資格を有すると確認されている競技者が、試合開始時に不在の場合、以下のとおりとする。
 - ① 試合開始（前半キックオフ）後、ピッチに到着した場合
その競技者は、前半は出場できず、ベンチに入ることもできない。
 - ② 後半開始（後半キックオフ）前、ピッチに到着した場合
試合開始から後半開始までの間にピッチに到着し、ハーフタイムの時間内に主審の承認を得ると後半開始時よりその試合に出場することができ、ベンチに入ることもできる。
 - ③ 後半開始（後半キックオフ）後、ピッチに到着した場合
その競技者はその試合に出場することはできず、ベンチに入ることもできない。
- (8) ピッチサイズは、長さ40m × 幅20mとする。
- (9) 試合球は、日本協会検定のフットサルボールを使用する。

11. 組合せ

本大会の組合せは、（一社）関東サッカー協会フットサル委員会（以下、「関東フットサル委員会」とする。）において抽選により決定する。

12. 懲罰

- (1) 本大会規律・フェアプレー委員会を設置し、日本協会「懲罰基準」に則り規律問題について処理する。
- (2) 本大会において退場を命じられた選手は、次の1試合に出場できず、それ以降の処置について本大会規律・フェアプレー委員会において決定する。
- (3) 本大会期間中、警告を2回受けた者は、次の1試合に出場できない。

13. 参加申込

- (1) 1チームあたりの登録人数は、選手20名、役員4名を上限とする。
- (2) 都県大会からの選手変更は、指定期日までに3名を上限に認められる。その場合、前述の参加資格を満たし、かつ本大会（都道府県大会を含む）において他チームとして出場していないことを条件とする。

(3) 指定期日までに事務諸手続き（参加申込用紙・フットサル大会登録票写等の書類提出、参加費納入）を完了しなければならない。

(4) 受領完了した書類記載内容（選手追加／変更、背番号、ユニフォーム等）の変更は認めない。

(5) 参加申込みは、大会参加費の振り込みならびに下記の書類に必要事項を記入の上、原本を郵送し大会申込書を事前にデータで指定されたアドレスに送付すること。

フットサル大会登録票写し（都県サッカー協会・印）⇒郵送

大会参加申込書（都県サッカー協会・印）⇒データ（エクセル）送付と郵送

参加費納入報告書（振込明細のコピー貼付け）⇒郵送

プライバシーポリシー同意書 ⇒郵送

(6) 振込先口座： ※省略

(7) 申込期日：データ送付 2016年6月5日(日)必着

郵送 2016年6月10日(金)必着

(8) 選手変更は、3名を上限に2016年6月10日(金)必着締め切りとする。

14. 参加費 45,000 円

15. 代表者会議

2016年7月10日 9:00～ 熊谷スポーツ文化公園彩の国くまがやドーム体育館内

参加チーム代表者1名は、代表者会議に出席しなければならない。

代表者会議に無断で「欠席・遅刻」したチームは主催者側の判断に委ねる。

16. 用具

(1) ユニフォームは、本大会においては以下の通りとする。

その他の事項については、当該年度の日本協会「ユニフォーム規程」に基づく。

ただし、本大会においては、旧ユニフォーム規程による運用も許容する。

① [ユニフォーム正副2着携行]

ユニフォーム（シャツ・ショーツ・ストッキング）は、フィールドプレーヤー・ゴールキーパーとも正のほか、副として正と異なる色彩のユニフォームを参加申込書に記載し、必ず競技場に携行すること。但し、選手全員が携行及び着用するユニフォームは、正副ともフィールドプレーヤー・ゴールキーパーのそれぞれすべてが同色・同デザインのものとする。

② ユニフォームのシャツの色彩は、審判員が着用する黒又は同系色（紺など）を用いることはできない。尚、ショーツ・ストッキングについては、この限りではない。

③ 選手番号は、1から99までの整数とし、0は認めない。フィールドプレーヤーは1番をつけることができない。また、参加申込書に記載され、明確に判別しうる選手固有の番号をシャツ前面・背面に付けること。（ショーツにも番号をつけることができる）

④ シャツやショーツの下にアンダーシャツ・ショーツを外に露出して着用する場合、アンダーシャツの袖の色は、シャツの袖の主たる色と同色でなければならない。

また、アンダーショーツはショーツの主たる色と同色でなければならない。

（同系色は認められない）

⑤ [パワープレーユニフォームはゴールキーパーシャツのみ]

競技開始後、フィールドプレーヤーがゴールキーパーとしてプレーする場合のユニフォームは、以下の通りとする。ゴールキーパーのシャツと同色・同デザインであることを基本とする。（ショーツ・ストッキングについてはゴールキーパーと同色・同デザインでなくても認められる）

競技者が着用するシャツにはその競技者自身の背番号を付けなければならない。

負傷や退場処分等の突発的な諸事情により、交代要員のゴールキーパーが不在でかつ準備が整っていない場合、主審の判断により、ゴールキーパーのシャツを前述以外のシャツにより代用することができる。

- ⑥ ユニフォーム広告（規格外のユニフォームメーカーロゴマークを含む）表示については、日本協会「ユニフォーム規程」に基づき承認を得ている場合に限り認める。

尚、ユニフォーム広告表示により生じる会場等への広告掲出料等の経費は当該チームの負担とする。

- ⑦ エンブレム・広告などがついている有名クラブのレプリカユニフォームは認められない。

- (2) シューズは、キャンバスまたは柔らかい皮革製で、靴底がゴムまたは類似の素材でのトレーニングシューズまたは体育館用シューズタイプのみが許される。尚、靴底の接地面は白色・アメ色・無色透明とする。ピッチ面を傷つけたり、着色する恐れのあるシューズは認められない。

- (3) 参加チームは、ユニフォームシャツと異なる2色のビブスを準備・携行し、競技中にピッチ内の選手と明確に判別するため、交代要員はそのビブスを着用しなければならない。

- (4) 選手の装身具（ネックレス、ピアス、指輪 等）については、すべて取り外すこととする。

17. 表彰

優勝・第2位に表彰状を授与する。

18. 出場権

上位2チームは全国大会（2016年8月26日～28日、大阪府／府民共済SUPERアリーナ開催）に出場する義務と権利を有する。

19. 傷害補償

参加チームの責任において、出場選手は傷害保険に必ず加入しなければならない。怪我などの事故が発生した場合、主催者は一切の責任を負わない。

20. その他

- (1) 大会運営・競技進行を円滑にするため、参加チームは別紙「競技運営について」を遵守しなければならない。
- (2) 本要項に定められていない事項については、関東フットサル委員会の規律フェアプレー委員会において協議の上決定する。
- (3) 審判員は主催審判委員会より派遣されます。
- (4) ボールを使っての練習は、決められた場所以外は禁止とする。
- (5) ごみは、すべて各チームで持ち帰る。
- (6) 本大会参加に要する経費は、すべて参加者負担とする。